



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月7日

上場会社名 ウライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2658 URL http://www.urai.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 裏井 紳介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務統括本部長兼経理部長 (氏名) 森 和樹 TEL 075-361-0330
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,198	△3.7	△103	—	△105	—	△105	—
25年3月期第1四半期	2,283	3.5	△43	—	△51	—	792	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △129百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 736百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△9.86	—
25年3月期第1四半期	73.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	10,327	5,089	49.3	474.32
25年3月期	10,336	5,251	50.8	489.35

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 5,089百万円 25年3月期 5,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,800	△1.5	30	△32.8	25	△17.6	20	△97.7	1.86
通期	9,800	△0.3	130	0.5	110	9.0	80	△91.4	7.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	11,000,000株	25年3月期	11,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	269,958株	25年3月期	268,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	10,730,042株	25年3月期1Q	10,731,539株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の金融緩和策等による景気回復への期待感を背景に、株価の回復・円高の是正の動きもあり、緩やかな改善の兆しが見られたものの、個人消費を中心とした全体経済までその効果が波及しておらず、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する和装業界におきましても、市場縮小傾向に下げ止まり感はでてきましたものの、長引く消費低迷に伴い依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、事業部門間の取扱商品の相乗効果による販売の強化、消費者への商品提案を中心とした商品開発と原価率改善を目的に商品管理体制の見直しを行うとともに、販売促進企画の提案や催事展開の効率化、固定費の削減など営業効率の改善に努めてまいりました。

結果といたしまして、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,198百万円と前年同期比84百万円(3.7%)の減少、営業損失は103百万円(前年同期は43百万円の営業損失)、経常損失は105百万円(前年同期は51百万円の経常損失)となり、四半期純損失は105百万円(前年同期は特別利益に固定資産売却益750百万円を計上したこと等により792百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① きもの事業

きもの事業におきましては、消費低迷の影響から厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、消費者の方への商品提案に心がけた「和」の文化を活かしたブランド商品や、タレントのローラを起用した新振袖ブランド「ROLA」の立ち上げ等の商品戦略実施及びリーズナブルな商品の展開を行うとともに、商品管理体制の改善に基づく商品効率の向上、また、小売店頭活性化への販売促進企画の提案や得意先催事への応援強化等積極的な営業活動の展開と事業効率の改善に努めてまいりました。結果といたしまして、売上高は1,378百万円と前年同期比42百万円(3.0%)減少、セグメント損益におきましては、50百万円のセグメント損失(前年同期は6百万円のセグメント利益)となりました。

② ジュエリー事業

宝石業界におきましては、高額商品の販売は回復基調の兆しがあるものの依然として厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、ダイヤ及び色石等素材商品につきましてはファッション性と価格競争力の強化、また、多様な消費者ニーズへの対応を図るべく店頭展開が可能な「ラウラペラッティ」を新たなデザイナーブランド商品として加え、ブランド商品の拡充とスペインのブランドである「カレライ カレラ」の展開を図るとともに、得意先催事に対する積極的な販売促進企画の提案、在庫の縮減等事業効率の改善に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は374百万円と前年同期比40百万円(9.8%)減少、セグメント損益におきましては、0百万円のセグメント損失(前年同期は3百万円のセグメント損失)となりました。

③ ファッション事業

毛皮・レザー等の重衣料商品全般は、カジュアル化傾向による単価の下落等から厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、当社取扱ブランド商品を中心に軽量感としなやかさを重視したファッション性の高い商品の展開活動を行うとともに、オストリッチやクロコダイル等爬虫類素材の高級ハンドバッグの拡販に努め、商品管理の徹底、催事効率の改善等事業効率の向上に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は445百万円と前年同期比2百万円(0.5%)減少、セグメント利益におきましては、24百万円と前年同期比3百万円(11.0%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は10,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は7,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円の増加となりました。主な要因は商品及び製品が465百万円増加に対し、受取手形及び売掛金が350百万円減少したことによります。

固定資産は3,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円の減少となりました。主な要因は投資有価証券が45百万円減少したことによります。

(負債)

流動負債は4,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が236百万円、短期借入金が100百万円の増加に対し、未払法人税等が73百万円減少したことによります。

固定負債は1,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金が30百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産合計は5,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円の減少となりました。主な要因は利益剰余金が138百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、売上高等が計画を若干下回った推移ではありますが、現段階におきましては、平成25年5月10日付「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,005,895	906,404
受取手形及び売掛金	3,843,799	3,493,376
有価証券	—	2,000
商品及び製品	2,149,113	2,614,172
その他	97,534	140,945
貸倒引当金	△95,800	△90,500
流動資産合計	7,000,543	7,066,398
固定資産		
有形固定資産		
土地	914,538	914,538
その他(純額)	959,708	944,422
有形固定資産合計	1,874,247	1,858,960
無形固定資産		
投資その他の資産	9,449	10,257
投資有価証券	757,788	712,643
その他	1,134,353	1,117,782
貸倒引当金	△439,961	△438,970
投資その他の資産合計	1,452,181	1,391,455
固定資産合計	3,335,878	3,260,674
資産合計	10,336,422	10,327,072
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,666,851	1,903,192
短期借入金	1,756,680	1,856,680
1年内償還予定の社債	58,000	58,000
未払法人税等	79,387	5,692
賞与引当金	101,500	45,750
売上割戻引当金	13,029	10,836
返品調整引当金	34,918	31,157
その他	237,232	276,325
流動負債合計	3,947,598	4,187,634
固定負債		
社債	203,000	203,000
長期借入金	421,010	390,590
退職給付引当金	62,683	59,023
その他	450,786	397,354
固定負債合計	1,137,480	1,049,967
負債合計	5,085,079	5,237,601

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857,196	1,857,196
資本剰余金	1,577,320	1,577,320
利益剰余金	4,441,424	4,303,399
自己株式	△22,691	△22,861
株主資本合計	7,853,249	7,715,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,882	175,258
繰延ヘッジ損益	—	△51
土地再評価差額金	△2,800,789	△2,800,789
その他の包括利益累計額合計	△2,601,906	△2,625,583
純資産合計	5,251,342	5,089,470
負債純資産合計	10,336,422	10,327,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	2,283,329	2,198,357
売上原価	1,523,482	1,471,620
売上総利益	759,847	726,736
返品調整引当金戻入額	42,050	34,918
返品調整引当金繰入額	36,401	31,157
差引売上総利益	765,496	730,497
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	34,177	32,630
販売促進費	133,059	136,147
広告宣伝費	11,310	14,220
貸倒引当金繰入額	△35,343	△4,700
役員報酬	22,203	20,598
給料手当及び賞与	259,710	265,883
賞与引当金繰入額	45,700	45,750
退職給付費用	32,719	34,883
福利厚生費	52,048	49,815
旅費及び交通費	124,153	120,890
減価償却費	17,266	17,443
その他	112,117	100,231
販売費及び一般管理費合計	809,121	833,795
営業損失(△)	△43,625	△103,297
営業外収益		
受取利息	49	31
受取配当金	4,785	4,914
不動産賃貸料	10,364	10,818
貸倒引当金戻入額	—	384
その他	1,387	677
営業外収益合計	16,586	16,825
営業外費用		
支払利息	15,446	8,479
社債利息	—	710
不動産賃貸費用	8,624	8,261
その他	—	1,402
営業外費用合計	24,071	18,854
経常損失(△)	△51,110	△105,326
特別利益		
固定資産売却益	750,510	—
投資有価証券売却益	4,700	—
特別利益合計	755,210	—
特別損失		
固定資産除却損	—	71
投資有価証券売却損	2,396	—
投資有価証券評価損	1,024	—
特別損失合計	3,420	71

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	700,679	△105,397
法人税、住民税及び事業税	57,475	1,448
法人税等調整額	△148,847	△1,014
法人税等合計	△91,372	434
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	792,051	△105,831
四半期純利益又は四半期純損失(△)	792,051	△105,831

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	792,051	△105,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,688	△23,624
繰延ヘッジ損益	—	△51
その他の包括利益合計	△55,688	△23,676
四半期包括利益	736,363	△129,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	736,363	△129,508
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,421,055	415,084	447,190	2,283,329	—	2,283,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,421,055	415,084	447,190	2,283,329	—	2,283,329
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	6,696	△3,795	27,683	30,584	△74,210	△43,625

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△74,210千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,378,875	374,326	445,155	2,198,357	—	2,198,357
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,378,875	374,326	445,155	2,198,357	—	2,198,357
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△50,808	△715	24,646	△26,877	△76,420	△103,297

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△76,420千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。